

風流如形也、次舟津參同前石井三木各給捶如例、十八日松拍參風流、自前々超過有其興、

○按ズルニ、昨年十月後小松天皇崩御シタマヒシヲ以テ、十八日ノ爆竹ヲバ舉行セザリシナ

ラン、尙ホ次下引ク所ノ宣胤卿記ヲ參看スベシ、

〔宣胤卿記〕長享三年元延德正月十八日丁丑、今日禁裏三毬打停止、依諒闈園、去年三月、後花也、略中

十五日小三毬打如例云々、今日三毬打諒陰中有否事、舊冬被尋下、永享度停止十五日小由申入了、

〔二水記〕大永七年正月十五日、秉燭之程參内、御盃儀如恒略、於清涼殿小三毬打如例年、但依諒闈

○去年四月、後柏原崩、不發聲也、十八日、今日三毬打無之、依諒闈也、

〔享保集成絲綸錄〕二十六元祿二巳年正月

覺

一跡々如相觸候、町中ニ而左儀長焚候儀、堅無用ニ可仕候、并かざり道具、屋敷之内、又は往還之道にて燒申間敷候、但船に積捨候共、埃捨場へ捨可申候、又は薪に致し候共、可爲勝手次第、附火之元之儀、彌念入可申事、

二十日正月

〔和漢三才圖會時侯〕廿日正月 陳眉公秘笈云、池湯以正月二十日爲天穿、以紅縷繫餅餌、擲之屋上、

謂之補天、按京都俗、正月廿日、每家食赤豆餅餌、蓋小豆赤色以准紅縷乎、但不祭天祭口而已、其他

畿内民俗、此日糯糰和赤小豆蒸之爲強飯食之、其品異而趣一也、以此日稱廿日正月嘉祝、

〔日次紀事正月〕二十日 團子今日地下人諸人各遊樂、謂二十日團子、

〔日本歲時記正月〕廿日、今日女人の鏡臺の祝として、それに供たりし鏡鑑を煮食ふ事あり、これ武士

の鏡の鑑をいはふとしき事なり、廿日をもちゆるは、廿日をいはふと、初顔祝と詞おなじきゆへに、これを縁にとれるよし、他にいひならはせり、

〔東都歲事記正月〕廿日 商家愛比壽講○中 今日太神樂來る 貴賤廿日正月とて、雜煮餅を食